

# 平成 18 年度／第 4 回 理事会 議事録

日 時 平成 18 年 12 月 6 日（水） 15 時～17 時 15 分

場 所 電気学会 第 1～4 会議室

出席者：野嶋 孝会長，仁田旦三会長代理，滝沢照広・青嶋義晴・日高邦彦・田井一郎 各副会長，内藤雄順・片岡和久・大木義路・石井 勝 各常務理事，村岡泰夫専務理事，岡本達希・池田久利・宮道壽一・齋藤涼夫 各部門長，奥山雅則 E 準部門長，吉川照一（代理：長谷川豊純氏）・一ノ倉 理・中村秋夫・大熊 繁（代理：樋口一成氏）・岩原正吉・八木重典・奥村浩士（代理：坂根千晴氏）・大西徳生・和田 清 各支部長，佐藤裕雄・福永定夫 各監事

オブザーバ：川北浩司，小林昌三，小山泰史，花井浩一

事務局：島田敏男事務局長，神尾知幸事務局長代理，細川 亮，会田 宏，槌屋孝司，紀国谷 隆，森 正美，小笠原勝彦，石橋邦雄，板橋忠幸

配布資料

平成 18 年度／第 3 回 理事会 議事録（案）

1. 平成 19 年度「本部役員候補者」推薦申し出結果
2. 電気学会 男女共同参画推進特別委員会の設置について
3. 電気学会 第 92 回～第 94 回通常総会「特別講演」講演者・演題（案）ご推薦状況
4. 会計規程一部改正について
5. 機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について
6. 2006 年 10 月～2006 年 11 月会員入(退)会の承認について
7. 平成 18 年度 一般会計 収支計算書（予算，決算）10 月末現在
8. 平成 19 年表彰 受賞候補者推薦 受理件数
9. JEC のあり方について（梗概）
10. 国際標準化 100 年記念行事の報告について
11. 公益法人制度改革の概要
12. 事業概況報告（平成 18 年 11 月末日現在）
13. 第 9 回技術教育創造の世界「エネルギー利用」技術作品コンテスト
14. 主要催事開催案内
15. ご寄付のご案内
16. タイ王立工学会との合同研究会「高電圧技術の最新動向」／韓国大韓電気学会電力技術部門会との「分散型電源と電力品質」に関するシンポジウム

## 議事概要

開会に先立ち，事務局から定款第 30 条（理事会の定足数等）に基づき，本理事会は出席理事 25 名（代理出席 3 名を含む）で成立条件の定足数（理事現在数の 2 分の 1 以上：13 名以上）が満たされている旨の報告があり，定刻より内藤総務企画理事の議事進行により議案の審議を開始した。

## 1. 前回議事録の確認

資料「平成 18 年度／第 3 回 理事会議事録（案）」に基づき，事務局が概略の説明を行い，内藤総務企画理事から事前に配布してすでに確認いただいているが，その後の修正箇所等の有無を確認した結果，以下のとおり修正することで承認された。

3 ページの下から 1 行目：平成 18 年度→平成 19 年度

## 2. 審議事項

### 2.1 平成19年度役員等候補者の選定

村岡専務理事から、資料1「平成19年度 本部役員候補者 推薦申し出結果」に基づき、推薦状況について説明があり審議の結果、次のとおり進めることとした。

- ・本部役員は、上位1名のみを候補者として選挙を行う。
- ・本部代表評議員候補者は、得票順位9位（得票数7）で同列の5名のうち、年長の順の4名を含め、改選数と同じ12名の候補者で選挙を行うこととする。また、今後同様な判断を要する場合は、年齢の他、産学の区別・学会内の役職・専門分野等を考慮して決定していくことを確認した。
- ・石山和志氏（東北大学）が東北支部（会計幹事候補）とA部門（研究経営担当候補）に重複して候補者となっているため、ご本人の希望などを東北支部とA部門が確認・調整の上、どちらかに絞って頂く方向とする。

### 2.2 電気学会 男女共同参画推進特別委員会の設置

田井副会長および事務局から、資料2「電気学会 男女共同参画推進特別委員会の設置について」に基づき次のとおり説明があり、審議の結果設置が承認された。なお、運営要綱については、第4条（委員の選定）で委員長が副委員長・委員・幹事を選定することとなっているため、第1回委員会で検討し修正を加えることなどを条件に承認され、活動報告は中間および終了時に理事会へ報告することとし、併せて学会誌・全国大会の本部企画シンポジウムなどで報告の上、活動終了後には女性を中心とした専門委員会等の立ち上げを目指すこととした。

- ・電気学会の女性会員はわずか1%台にとどまっており、より多くの女性に学会活動を推進していただくには、どうしたら良いのか、電気学会における現状分析・問題提起・今後の改善推進方策・具体的活動計画から企画立案実行までを検討することを目的に理事会直轄の特別委員会を設置することとしたい。
- ・活動期間は、平成19年1月から平成20年12月までの2年間とする。
- ・平成19年度予算として、「その他事業管理費支出」より144万円（内訳：活動資金50万円、直接作業費94万円）計上したい。

#### 【主な質疑：Q, A／意見：C（ご参考）】

C：文部科学省関係者にもご参画頂いたらどうか。

C：電気学会内部だけでなく、社会全体にアピールするような目的に修正するなど、設置趣意書の精査が必要ではないか。

C：執行案件に対しては、積極的に取り組んでいかなければならない。

Q：設置期間2年間は長いのではないか？

A：委員長と相談の上、決めることとしたい。

Q：本特別委員会から数多くの要望が出された場合の対応はどのようにするのか？

A：託児所の設置などお金のかかることとそうでないことを区別して判断していきたい。

### 2.3 第95回通常総会「特別講演」講演者・演題案

田井副会長から、資料3「電気学会 第92回～第94回通常総会「特別講演」講演者・演題（案）ご推薦状況」に基づき、前回理事会において11月30日を期限として、ふさわしい演題（案）および講師のご提案をお願いしたが、期限までに推薦が無く、年内には決定しなくてはならないため、ヒント的なご提案でも構わないので改めてご推薦をお願いするとの説明があった。審議の結果、次のとおり進めることとした。

なお、野嶋会長から希少金属関係でご講演頂けるふさわしい講師の方はいないかとのコメントがあった。

- ・ご提案は演題（案）と講師どちらか片方でも可能とし、改めて理事会メンバーへメールでご推薦をお願いします。
- ・研究経営役員が提案案件を判断し、メール審議で演題（案）および講師を決定の上、講師との調整を行う。

### 3. 承認事項

#### 3.1 会計規程の改正

片岡会計理事および神尾事務局長代理から、資料4「会計規程の改正」に基づき、公益法人会計基準の変更に伴い、帳簿組織・決算資料等を新公益法人会計に準拠した形に改めるため、会計規程（会計規程1）を改正したいとの説明があり審議の結果、承認された。

併せて、前回理事会において一般会計にある有価証券を学術振興基金・支部運営のために基金化することが承認されたことにより、会計規程細目（会計規程1-1）を一部改正したとの報告があった。

#### 3.2 機関別認証制度に係る専門委員候補者の推薦

島田事務局長から、資料5「機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について」に基づき、平成19年度～20年度専門委員にご就任頂く候補者として、雨谷昭弘氏（同志社大学）はじめ10名の提案があり、審議の結果承認され、ご本人の内諾を得る手続きを開始することとした。

#### 3.3 会員の入退会

島田事務局長から、資料6「2006年10月～2006年11月会員入(退)会の承認について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

審議にあたり、グラフ資料の体裁について改善の提案があり事務局で検討することとした。

・個人会員入会者数	203名
・個人会員退会者数	133名
・事業維持会員入会数	1社（1口）
・事業維持会員退会数	6社（14口）
・事業維持会員口数変更	1社（減口1口）

上記の入退会が承認されたことにより、平成18年11月末の会員数は、個人会員24,775名（17年度末比較：195名増）、事業維持会員469社（3,278口）（17年度末比較：3社減／39口減）となった。

なお、事業維持員の退会・減口に対する引留要請を関連会社などでご担当頂ける役員がおいでになれば事務局までご一報頂くこととした。

### 4. 報告事項

#### 4.1 平成18年度 一般会計 収支計算書（予算、決算）10月末現在

片岡会計理事から、資料7「平成18年度 一般会計 収支計算書（予算、決算）10月末現在」に基づき、10月末現在においては、収支ともに昨年度並みの実績となっているとの報告があった。

#### 4.2 平成19年 表彰受賞候補者の申請状況

滝沢副会長および事務局から、資料8「平成19年 表彰受賞候補者推薦 受理件数」に基づき、表彰委員会で審議の結果、重複推薦を除き、ほぼ例年並みの合計54件の推薦を受理し、今後有権者による投票に付するとの報告があった。

#### 4.3 JECのあり方

小笠原標準化推進室長から、資料9「JECのあり方について（梗概）」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成16年度からアドホック委員会を設置し、アンケート調査等を実施して、JEC規格の存在意義・JECの活用方策に関する提言・規格標準化活動の課題と強化策などについて検討を重ね、課題の抽出を行った。
- ・それに基づき電気規格調査会活動の改革のため、アクションプログラムを作成中である。

#### 4.4 国際標準化100年記念事業の報告

小笠原標準化推進室長から、資料10「国際標準化100年記念行事の報告について」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成18年10月12日午後、グランドヒル市ヶ谷にて「国際標準化100年記念行事」を開催し、約80名の関係者が出席した。
- ・式典では、今回初めて電気規格調査会功績賞・功労賞の表彰式も執り行われた。
- ・式典に続き、基調講演・記念特別講演が開催された。
- ・各標準化委員会から寄せられた活動状況等を小冊子として取りまとめ、併せてホームページにも掲載することとした。

#### 4.5 公益法人制度改革の概要

島田事務局長から、資料11「公益法人制度改革の概要」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・新制度では、現行の社団法人・財団法人は「一般社団法人・一般財団法人」、「公益社団法人・公益財団法人」に細分化される。
- ・公益性が判断基準となり、法人の設立と公益法人への認定の2ステップを踏むこととなる。
- ・税制措置については不確定だが、行政庁から監督を受ける立場となる。
- ・平成20年度中に法律が施行されるが、電気学会は認定基準等を満たし「公益社団法人」に認定されるよう諸準備を進める。

#### 4.6 事業概況報告

島田事務局長から、資料12「事業概況報告（平成18年11月末日現在）」に基づき、学会誌・部門誌の掲載ページ数、図書出版、研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて、平成18年4月から平成18年11月まで(学会誌・部門誌の掲載頁数については平成18年12月まで)の実績報告があり、実績と計画が乖離している事業については、関係委員会・部門などでフォローして頂くこととした。

#### 4.7 その他

##### (1) 外部機関の表彰への会長賞等の供出報告

##### (2) 主要催事開催案内

##### (3) ご寄付のご案内

内藤総務企画理事から、上記4.7 その他の(1)~(3)については、すでに理事会各メンバーの「My ページ」に資料がアップされており、事前に確認済みであるが質問等の有無を確認した結果、特になかったため報告を割愛した。

##### (4) タイ王立工学会との合同研究会「高電圧技術の最新動向」および韓国大韓電気学会

##### 電力技術部門会との「分散型電源と電力品質」に関するシンポジウムの開催

村岡専務理事から、資料16「タイ王立工学会との合同研究会「高電圧技術の最新動向」および韓

国大韓電気学会電力技術部門会との「分散型電源と電力品質」に関するシンポジウムの開催」に基づき、ホームページにも写真入りで梗概をアップしたので、是非ご覧頂きたいとの紹介があった。

**(5) 中国電機工程学会との連携**

仁田会長代理から、12月10日～14日の期間で開催される日中共同のUHV国際標準化の協議について紹介があった。

以上、すべての議案の審議を終了し17時15分閉会した。

平成19年3月7日

社団法人 電気学会

議事録署名人

議事録署名人

議事録署名人